

# ぶどう無核大粒品種「シャインマスカット」の産地振興

## ■背景とねらい

管内で栽培者が増加しているぶどう「シャインマスカット」は、房型や房の大きさ等品質が統一されていないという課題があり、これを解決するため、栽培経験の浅い、導入5年以内の生産者を対象に「南信州シャインマスカット研究会」を立ち上げ、重点的に技術習得を支援することにより、果実品質の向上を図った。

## ■本年度の取組

### 1 研究会による産地力強化

研究会通信やSNSを活用したネットワーク上で技術情報等を提供するとともに、会員相互の交流が図られるよう取り組んだ。

### 2 栽培技術の向上と省力技術の検討

研修会や現地検討会開催、小集団による研究活動に取り組み、栽培技術や課題解決の手法の習得を支援した。また、実演展示や機器の貸し出しによる省力機械器具の導入推進や、現地検討会等による簡易雨よけ施設の導入推進を図った。

### 3 ICT活用に向けた栽培技術の収集と活用方法の検討

熟練農業者等の作業動画を収集・編集し、動画で技術情報を配信するとともに、初心者向けの動画マニュアルを作成・配布し、技術習得を支援した。



簡易雨よけ現地検討会の様子

## ■本年度の成果

研究会の活動に対するアンケート調査の結果、研究会通信や研修会の情報については、参考になっている会員が多く、技術の向上に役立っている。また、SNSを活用したオープンチャットも確認している会員が多く、情報伝達の手法として有効である。

小集団による研究課題の取組では、早期摘心技術や、若木でのフラスター液剤の散布に取り組んだ生産者が効果を実感しており、今後もこれらの2課題については継続して検討される見込みである。

簡易雨よけの現地検討会では、黒とう病対策として生産者の関心が高かった。巡回時には、補助事業等の相談対応を行っており、本年度、県単事業を活用し、28戸、1.6haの簡易雨よけ施設が導入された。

収穫前の果実の持ち寄り調査により、熟度と房形を確認したが、一定レベルの房づくりがされており、技術が定着してきている。

初心者向けの動画マニュアルは、紙ベースの資料に比べ理解度が高く、会員82名に提供することにより、一層の技術習得の向上が期待される。

## ■今後の課題と対応

今後も、新規栽培者の早期技術習得を図るため、支援を行う。特に、SNSを活用した技術情報の提供や仲間づくりを推進し、すべての生産者が品質の高いぶどう生産を行う意識を持つことで、南信州ブランドの確立を目指す。

(地域第一係：木下 倫信)